

令和4年度第1回市政モニターアンケート結果

テーマ 「障害者の生涯学習に関する意識調査について」

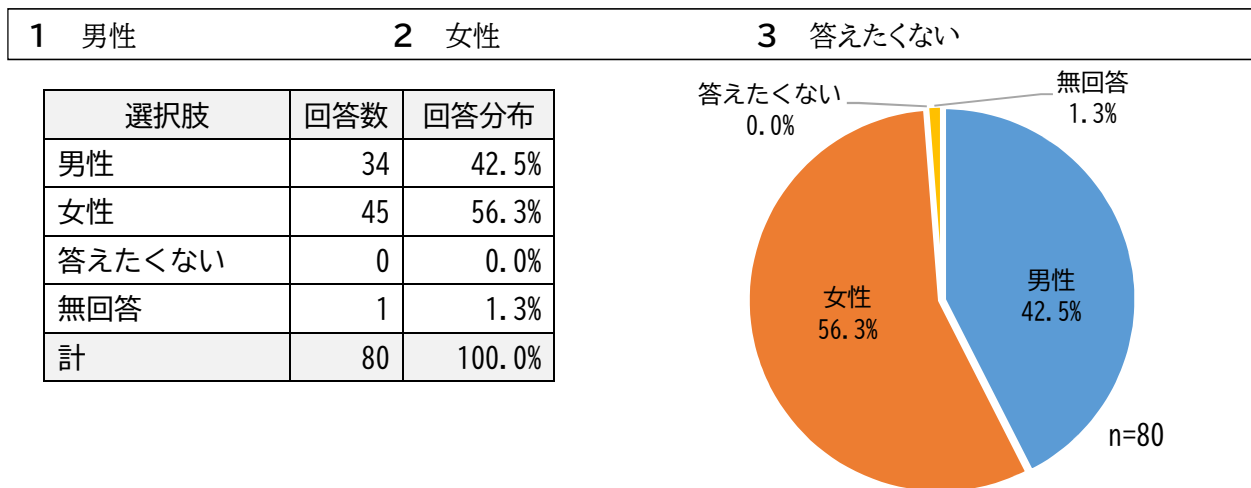
- (1) 対象 市政モニター 87人
(2) 回答者数 80人
(3) 実施期間 令和4年7月7日(木)から8月5日(金)まで
(4) 目的 相模原市では、発達障害支援センターにて発達障害に関する支援に取り組んでいます。現在、文部科学省の委託事業として、生涯学習に関する研究を相模女子大学と連携して行っています。今回の調査は、相模原市にお住いの皆様の生涯学習と発達障害に関する意識を調査し、今後の研究や支援に取り組む上で大切な資料として活用することを目的として、アンケート調査を実施しました。

※表、グラフ内の数字は回答者数を基数とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。

※問7から問26の「ごみの減量化・資源化について」は、別途掲載します。

【基本的項目についてお伺いします】

【問1】 あなたの性別をお伺いします。(回答は1つ)

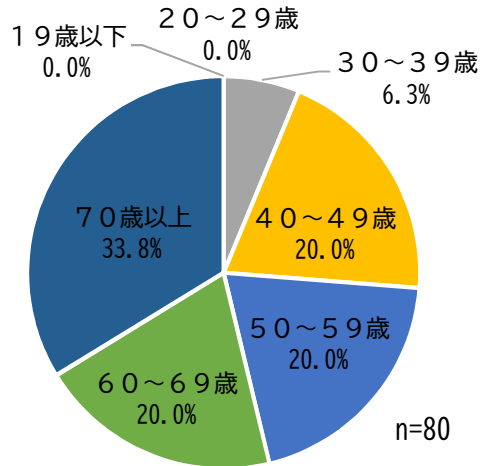


☆回答された方の性別は以上のとおりです。

【問2】 あなたの年齢をお伺いします。(回答は1つ)

1 19歳以下	4 40～49歳	7 70歳以上
2 20～29歳	5 50～59歳	
3 30～39歳	6 60～69歳	

選択肢	回答数	回答分布
19歳以下	0	0.0%
20～29歳	0	0.0%
30～39歳	5	6.3%
40～49歳	16	20.0%
50～59歳	16	20.0%
60～69歳	16	20.0%
70歳以上	27	33.8%
計	80	100.0%

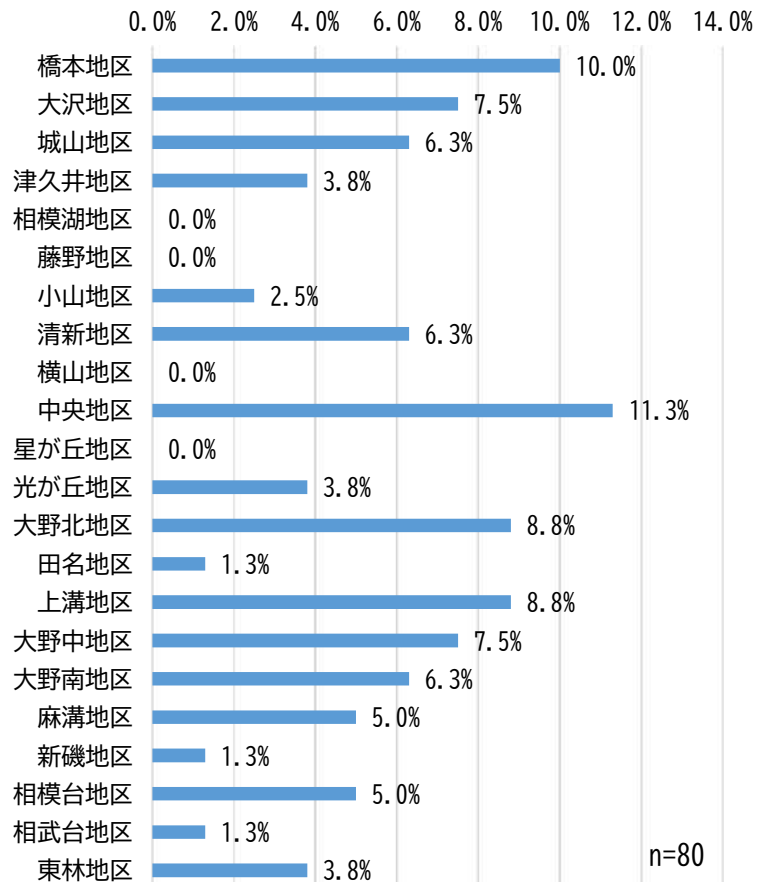


☆回答された方の年齢層は以上のとおりです。

【問3】 あなたのお住まいの地区をお伺いします。(回答は1つ)

《緑区》	1 橋本	2 大沢	3 城山	4 津久井	5 相模湖	6 藤野			
《中央区》	7 小山	8 清新	9 横山	10 中央	11 星が丘	12 光が丘	13 大野北	14 田名	15 上溝
《南区》	16 大野中	17 大野南	18 麻溝	19 新磯	20 相模台	21 相武台	22 東林		

選択肢	回答数	回答分布
橋本地区	8	10.0%
大沢地区	6	7.5%
城山地区	5	6.3%
津久井地区	3	3.8%
相模湖地区	0	0.0%
藤野地区	0	0.0%
小山地区	2	2.5%
清新地区	5	6.3%
横山地区	0	0.0%
中央地区	9	11.3%
星が丘地区	0	0.0%
光が丘地区	3	3.8%
大野北地区	7	8.8%
田名地区	1	1.3%
上溝地区	7	8.8%
大野中地区	6	7.5%
大野南地区	5	6.3%
麻溝地区	4	5.0%
新磯地区	1	1.3%
相模台地区	4	5.0%
相武台地区	1	1.3%
東林地区	3	3.8%
計	80	100.0%

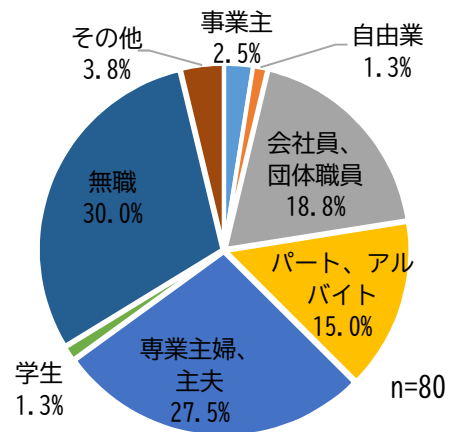


☆回答された方のお住まいの地区は以上のとおりです。

【問4】 あなたの職業をお伺いします。(回答は1つ)

1 事業主	3 会社員、団体職員	5 専業主婦、主夫	7 無職
2 自由業	4 パート、アルバイト	6 学生	8 その他

選択肢	回答数	回答分布
事業主	2	2.5%
自由業	1	1.3%
会社員、団体職員	15	18.8%
パート、アルバイト	12	15.0%
専業主婦、主夫	22	27.5%
学生	1	1.3%
無職	24	30.0%
その他	3	3.8%
計	80	100.0%

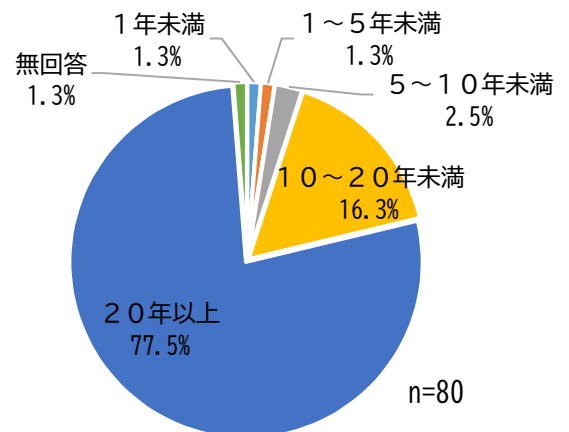


☆回答された方の職業は以上のとおりです。

【問5】 あなたは相模原市に住んで何年になりますか。(回答は1つ)

1 1年未満	3 5～10年未満	5 20年以上
2 1～5年未満	4 10～20年未満	

選択肢	回答数	回答分布
1年未満	1	1.3%
1～5年未満	1	1.3%
5～10年未満	2	2.5%
10～20年未満	13	16.3%
20年以上	62	77.5%
無回答	1	1.3%
計	80	100.0%

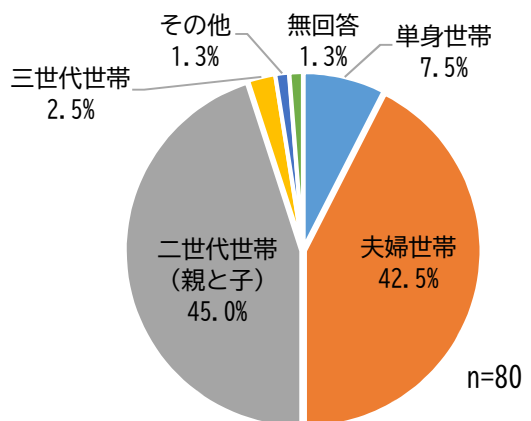


☆回答された方の居住年数は以上のとおりです。

【問6】 あなたの家族構成をお伺いします。(回答は1つ)

1 単身世帯	2 夫婦世帯	3 二世帯世帯(親と子)	4 三世帯世帯	5 その他
--------	--------	--------------	---------	-------

選択肢	回答数	回答分布
単身世帯	6	7.5%
夫婦世帯	34	42.5%
二世帯世帯(親と子)	36	45.0%
三世帯世帯	2	2.5%
その他	1	1.3%
無回答	1	1.3%
計	80	100.0%



☆回答された方の家族構成は以上のとおりです。

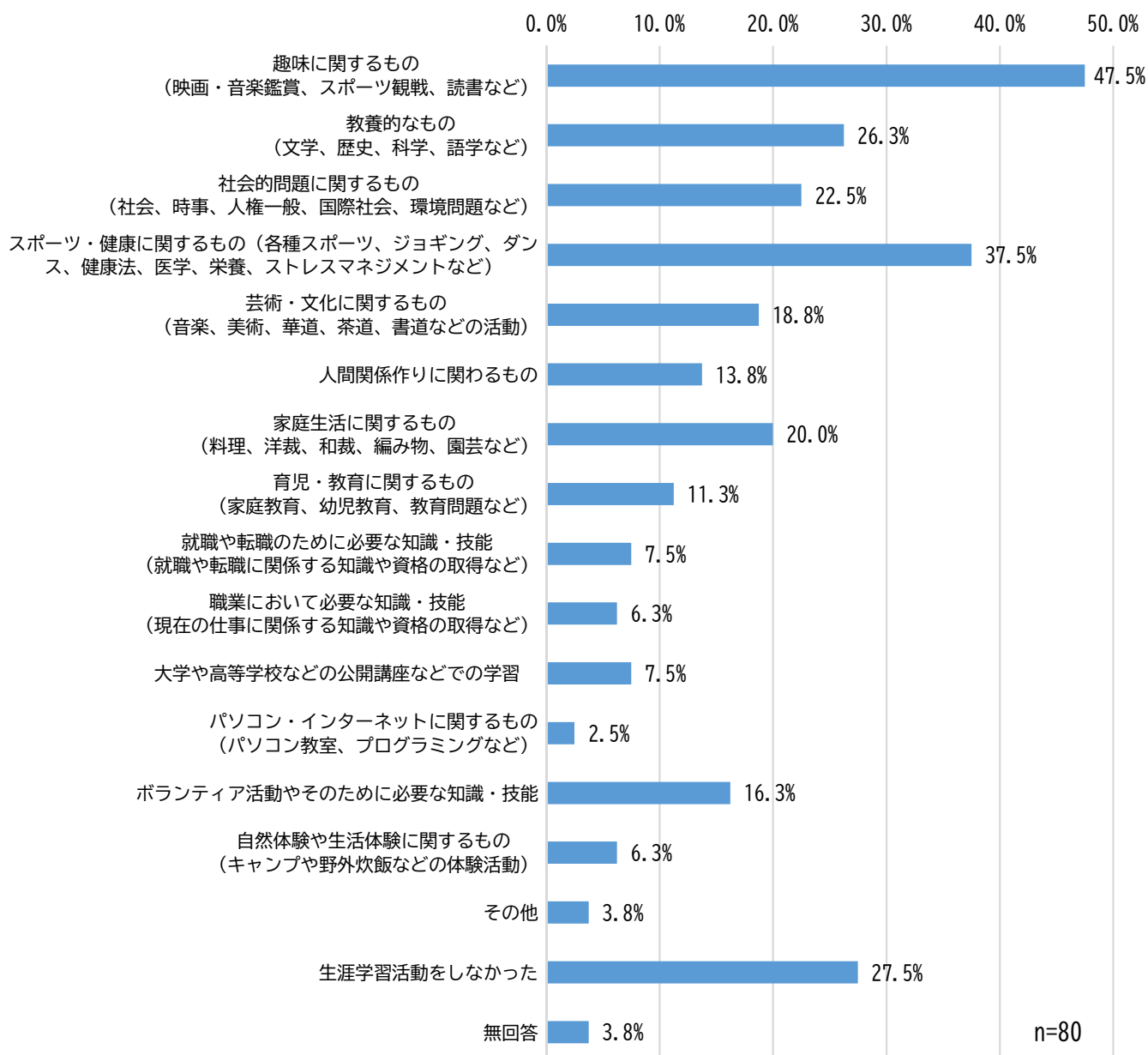
【問27】 あなたは、この1年間の間に、「生涯学習活動」をしましたか。(回答はいくつでも)

- 1 趣味に関するもの(映画・音楽鑑賞、スポーツ観戦、読書など)
- 2 教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)
- 3 社会的問題に関するもの(社会、時事、人権一般、国際社会、環境問題など)
- 4 スポーツ・健康に関するもの(各種スポーツ、ジョギング、ダンス、健康法、医学、栄養、ストレスマネジメントなど)
- 5 芸術・文化に関するもの(音楽、美術、華道、茶道、書道などの活動)
- 6 人間関係作りに関わるもの
- 7 家庭生活に関するもの(料理、洋裁、和裁、編み物、園芸など)
- 8 育児・教育に関するもの(家庭教育、幼児教育、教育問題など)
- 9 就職や転職のために必要な知識・技能(就職や転職に関係する知識や資格の取得など)
- 10 職業において必要な知識・技能(現在の仕事に関係する知識や資格の取得など)
- 11 大学や高等学校などの公開講座などでの学習
- 12 パソコン・インターネットに関するもの(パソコン教室、プログラミングなど)
- 13 ボランティア活動やそのために必要な知識・技能
- 14 自然体験や生活体験に関するもの(キャンプや野外炊飯などの体験活動)
- 15 その他
- 16 生涯学習活動をしなかった

選択肢	回答数	回答分布
趣味に関するもの(映画・音楽鑑賞、スポーツ観戦、読書など)	38	47.5%
教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)	21	26.3%
社会的問題に関するもの(社会、時事、人権一般、国際社会、環境問題など)	18	22.5%
スポーツ・健康に関するもの(各種スポーツ、ジョギング、ダンス、健康法、医学、栄養、ストレスマネジメントなど)	30	37.5%
芸術・文化に関するもの(音楽、美術、華道、茶道、書道などの活動)	15	18.8%
人間関係作りに関わるもの	11	13.8%
家庭生活に関するもの(料理、洋裁、和裁、編み物、園芸など)	16	20.0%
育児・教育に関するもの(家庭教育、幼児教育、教育問題など)	9	11.3%
就職や転職のために必要な知識・技能(就職や転職に関係する知識や資格の取得など)	6	7.5%
職業において必要な知識・技能(現在の仕事に関係する知識や資格の取得など)	5	6.3%
大学や高等学校などの公開講座などでの学習	6	7.5%
パソコン・インターネットに関するもの(パソコン教室、プログラミングなど)	2	2.5%
ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	13	16.3%
自然体験や生活体験に関するもの(キャンプや野外炊飯などの体験活動)	5	6.3%
その他	3	3.8%
生涯学習活動をしなかった	22	27.5%
無回答	3	3.8%

《その他の主な意見》

- ・大和市健康都市大学、本市成人学級に参加
- ・ボランティア2ヶ所でしたが、コロナで中止
- ・デイサービス、デイケアの利用、終活



☆「趣味に関するもの（映画・音楽鑑賞、スポーツ観戦、読書など）」が47.5%と最も多く、次いで「スポーツ・健康に関するもの（各種スポーツ、ジョギング、ダンス、健康法、医学、栄養、ストレスマネジメントなど）」が37.5%、「生涯学習活動をしなかった」が27.5%という結果となりました。

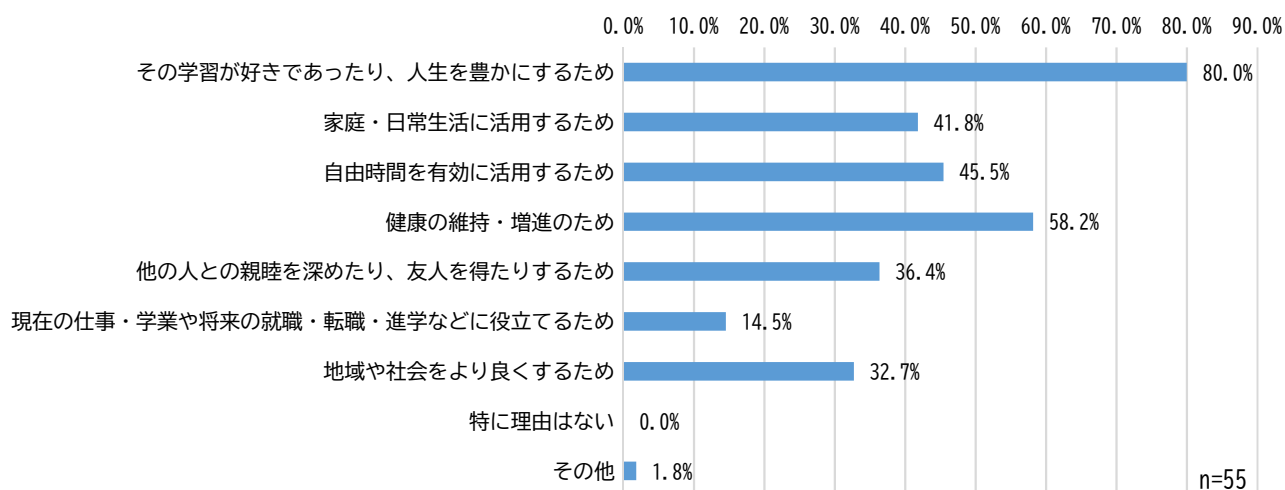
【問28】 あなたは何のために生涯学習をしていますか。(回答はいくつでも)

- 1 その学習が好きであったり、人生を豊かにするため
- 2 家庭・日常生活に活用するため
- 3 自由時間を有効に活用するため
- 4 健康の維持・増進のため
- 5 他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため
- 6 現在の仕事・学業や将来の就職・転職・進学などに役立てるため
- 7 地域や社会をより良くするため
- 8 特に理由はない
- 9 その他

選択肢	回答数	回答分布
その学習が好きであったり、人生を豊かにするため	44	80.0%
家庭・日常生活に活用するため	23	41.8%
自由時間を有効に活用するため	25	45.5%
健康の維持・増進のため	32	58.2%
他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため	20	36.4%
現在の仕事・学業や将来の就職・転職・進学などに役立てるため	8	14.5%
地域や社会をより良くするため	18	32.7%
特に理由はない	0	0.0%
その他	1	1.8%

《その他の主な意見》

- ・自治会内の人とのコミュニケーション

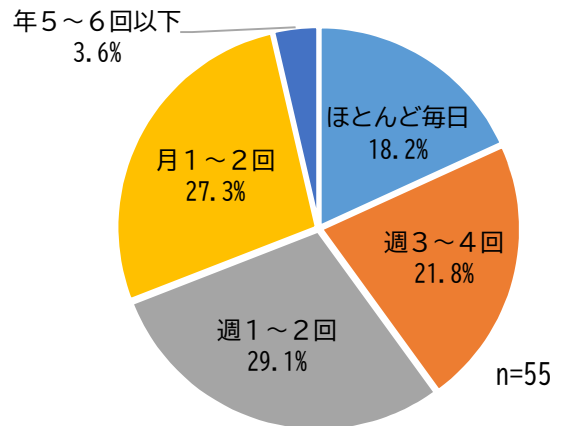


☆「その学習が好きであったり、人生を豊かにするため」が80.0%と最も多く、次いで「健康の維持・増進のため」が58.2%、「自由時間を有効に活用するため」が45.5%という結果となりました。

【問29】 活動はどのくらいの頻度で行っていますか。(回答は1つ)

1 ほとんど毎日	4 月1～2回
2 週3～4回	5 年5～6回以下
3 週1～2回	

選択肢	回答数	回答分布
ほとんど毎日	10	18.2%
週3～4回	12	21.8%
週1～2回	16	29.1%
月1～2回	15	27.3%
年5～6回以下	2	3.6%
計	55	100%

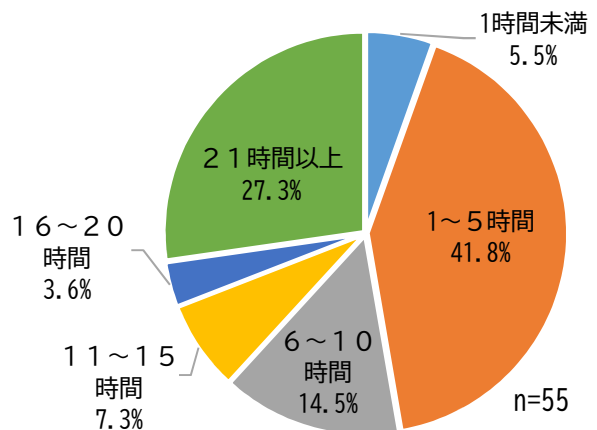


☆「週1～2回」が、29.1%という結果となりました。

【問30】 活動は1か月にどのくらいの時間行っていますか。(回答は1つ)

1 1時間未満	4 11～15時間
2 1～5時間	5 16～20時間
3 6～10時間	6 21時間以上

選択肢	回答数	回答分布
1時間未満	3	5.5%
1～5時間	23	41.8%
6～10時間	8	14.5%
11～15時間	4	7.3%
16～20時間	2	3.6%
21時間以上	15	27.3%
計	55	100%



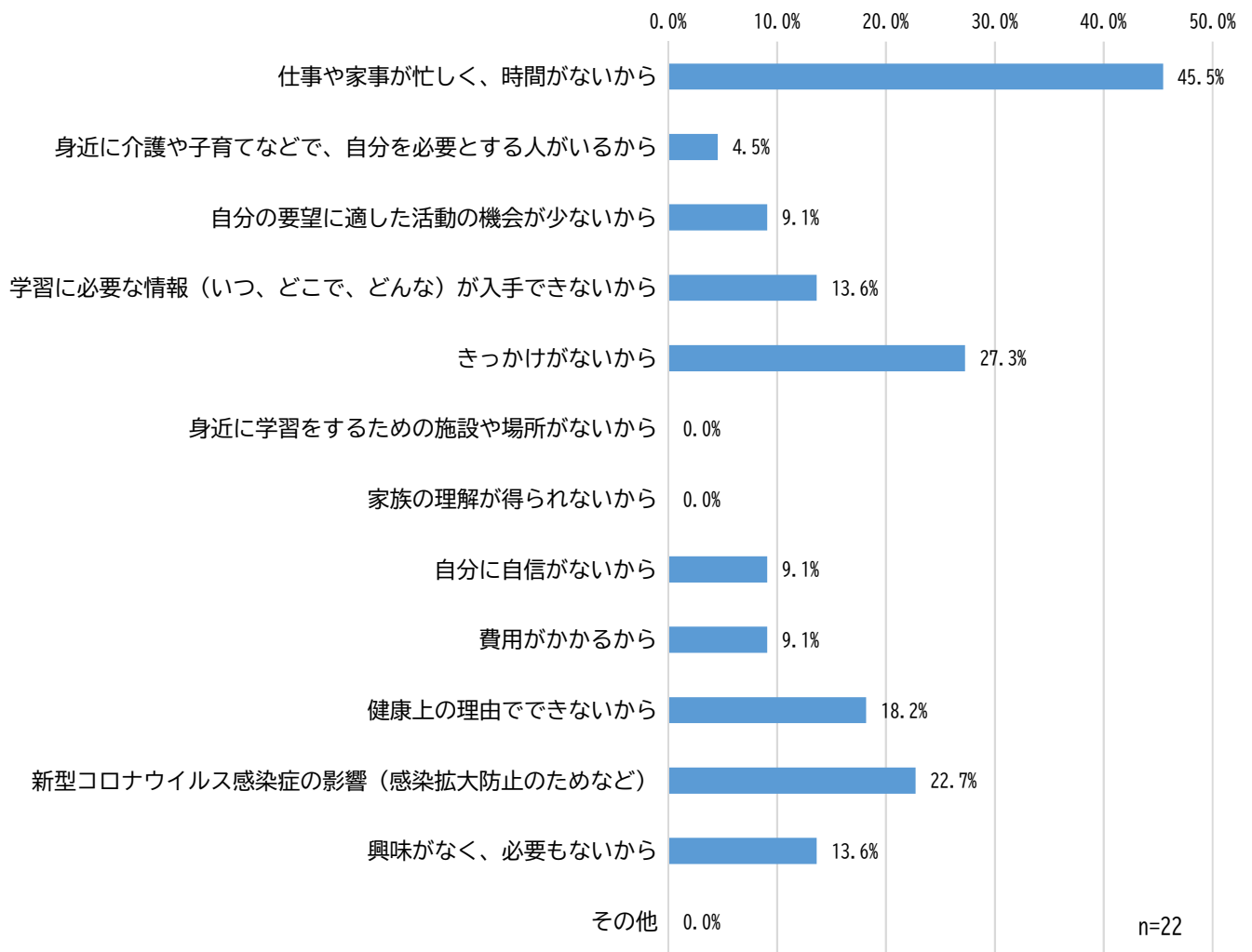
☆「1～5時間」が、41.8%という結果となりました。

「問27で「16 生涯学習活動をしなかった」と回答した方にお伺いします。」

【問31】 あなたが現在、生涯学習活動をしていない理由は何ですか。(回答はいくつでも)

- 1 仕事や家事が忙しく、時間がないから
- 2 身近に介護や子育てなどで、自分を必要とする人がいるから
- 3 自分の要望に適した活動の機会が少ないから
- 4 学習に必要な情報（いつ、どこで、どんな）が入手できないから
- 5 きっかけがないから
- 6 身近に学習をするための施設や場所がないから
- 7 家族の理解が得られないから
- 8 自分に自信がないから
- 9 費用がかかるから
- 10 健康上の理由でできないから
- 11 新型コロナウイルス感染症の影響（感染拡大防止のためなど）
- 12 興味がなく、必要もないから
- 13 その他

選択肢	回答数	回答分布
仕事や家事が忙しく、時間がないから	10	45.5%
身近に介護や子育てなどで、自分を必要とする人がいるから	1	4.5%
自分の要望に適した活動の機会が少ないから	2	9.1%
学習に必要な情報（いつ、どこで、どんな）が入手できないから	3	13.6%
きっかけがないから	6	27.3%
身近に学習をするための施設や場所がないから	0	0.0%
家族の理解が得られないから	0	0.0%
自分に自信がないから	2	9.1%
費用がかかるから	2	9.1%
健康上の理由でできないから	4	18.2%
新型コロナウイルス感染症の影響（感染拡大防止のためなど）	5	22.7%
興味がなく、必要もないから	3	13.6%
その他	0	0.0%



☆「仕事や家事が忙しく、時間がないから」が 45.5%と最も多く、次いで「きっかけがないから」が 27.3%、「新型コロナウイルス感染症の影響（感染拡大防止のためなど）」が 22.7%という結果となりました。

《全ての方にお伺いします。》

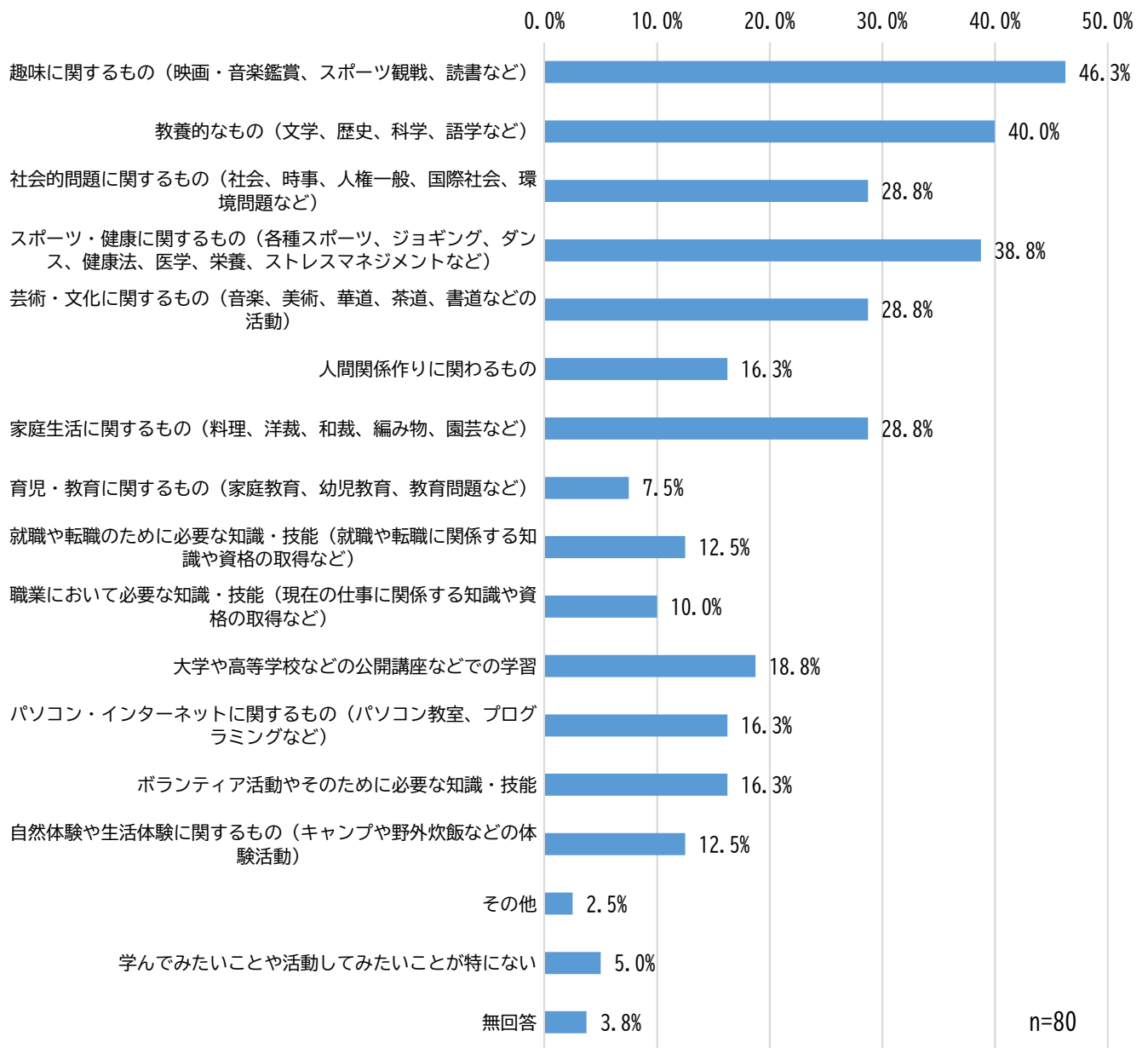
【問32】 今後、取り組んでみたい生涯学習活動はありますか。(回答はいくつでも)

- | | |
|----|--|
| 1 | 趣味に関するもの(映画・音楽鑑賞、スポーツ観戦、読書など) |
| 2 | 教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など) |
| 3 | 社会的問題に関するもの(社会、時事、人権一般、国際社会、環境問題など) |
| 4 | スポーツ・健康に関するもの(各種スポーツ、ジョギング、ダンス、健康法、医学、栄養、ストレスマネジメントなど) |
| 5 | 芸術・文化に関するもの(音楽、美術、華道、茶道、書道などの活動) |
| 6 | 人間関係作りに関わるもの |
| 7 | 家庭生活に関するもの(料理、洋裁、和裁、編み物、園芸など) |
| 8 | 育児・教育に関するもの(家庭教育、幼児教育、教育問題など) |
| 9 | 就職や転職のために必要な知識・技能 |
| 10 | 職業において必要な知識・技能(現在の仕事に関係する知識や資格の取得など) |
| 11 | 大学や高等学校などの公開講座などでの学習 |
| 12 | パソコン・インターネットに関するもの(パソコン教室、プログラミングなど) |
| 13 | ボランティア活動やそのために必要な知識・技能(就職や転職に関係する知識や資格の取得など) |
| 14 | 自然体験や生活体験に関するもの(キャンプや野外炊飯などの体験活動) |
| 15 | その他 |
| 16 | 学んでみたいことや活動してみたいことが特にな |

選択肢	回答数	回答分布
趣味に関するもの(映画・音楽鑑賞、スポーツ観戦、読書など)	37	46.3%
教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)	32	40.0%
社会的問題に関するもの(社会、時事、人権一般、国際社会、環境問題など)	23	28.8%
スポーツ・健康に関するもの(各種スポーツ、ジョギング、ダンス、健康法、医学、栄養、ストレスマネジメントなど)	31	38.8%
芸術・文化に関するもの(音楽、美術、華道、茶道、書道などの活動)	23	28.8%
人間関係作りに関わるもの	13	16.3%
家庭生活に関するもの(料理、洋裁、和裁、編み物、園芸など)	23	28.8%
育児・教育に関するもの(家庭教育、幼児教育、教育問題など)	6	7.5%
就職や転職のために必要な知識・技能(就職や転職に関係する知識や資格の取得など)	10	12.5%
職業において必要な知識・技能(現在の仕事に関係する知識や資格の取得など)	8	10.0%
大学や高等学校などの公開講座などでの学習	15	18.8%
パソコン・インターネットに関するもの(パソコン教室、プログラミングなど)	13	16.3%
ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	13	16.3%
自然体験や生活体験に関するもの(キャンプや野外炊飯などの体験活動)	10	12.5%
その他	2	2.5%
学んでみたいことや活動してみたいことが特にな	4	5.0%
無回答	3	3.8%

《その他の主な意見》

- ・健康や体力の維持に関するもの
- ・終活、旅行(国内、海外を知る)



☆「趣味に関するもの (映画・音楽鑑賞、スポーツ観戦、読書など)」が 46.3%と最も多く、次いで「教養的なもの (文学、歴史、科学、語学など)」が 40.0%、「スポーツ・健康に関するもの (各種スポーツ、ジョギング、ダンス、健康法、医学、栄養、ストレスマネジメントなど)」が 38.8%という結果となりました。

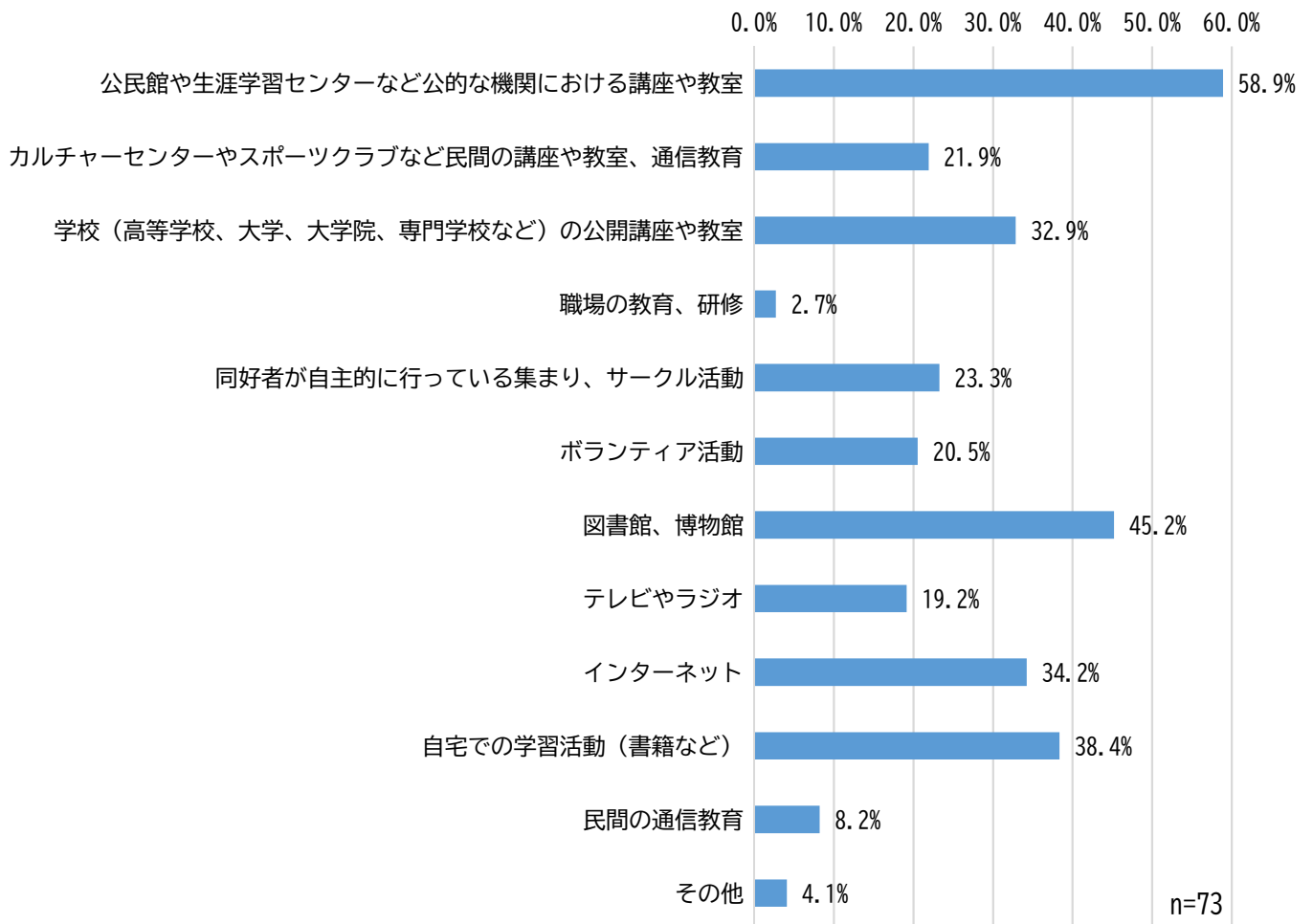
【問33】 あなたは、今後どのような場所や形態で生涯学習をしたいと思いますか。(回答はいくつでも)

- | | |
|----|----------------------------------|
| 1 | 公民館や生涯学習センターなど公的な機関における講座や教室 |
| 2 | カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育 |
| 3 | 学校（高等学校、大学、大学院、専門学校など）の公開講座や教室 |
| 4 | 職場の教育、研修 |
| 5 | 同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動 |
| 6 | ボランティア活動 |
| 7 | 図書館、博物館 |
| 8 | テレビやラジオ |
| 9 | インターネット |
| 10 | 自宅での学習活動（書籍など） |
| 11 | 民間の通信教育 |
| 12 | その他 |

選択肢	回答数	回答分布
公民館や生涯学習センターなど公的な機関における講座や教室	43	58.9%
カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育	16	21.9%
学校（高等学校、大学、大学院、専門学校など）の公開講座や教室	24	32.9%
職場の教育、研修	2	2.7%
同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動	17	23.3%
ボランティア活動	15	20.5%
図書館、博物館	33	45.2%
テレビやラジオ	14	19.2%
インターネット	25	34.2%
自宅での学習活動（書籍など）	28	38.4%
民間の通信教育	6	8.2%
その他	3	4.1%

《その他の主な意見》

- ・ 学び塾での講座など（学習センター）
- ・ デイサービス、子孫、友人、近所の人等人的交流
- ・ 過疎地対策に興味があり、自由に意見交換をする少人数集会在定期的に開催されれば参加したい。具体的な行動を伴う活動になればいいと思う。



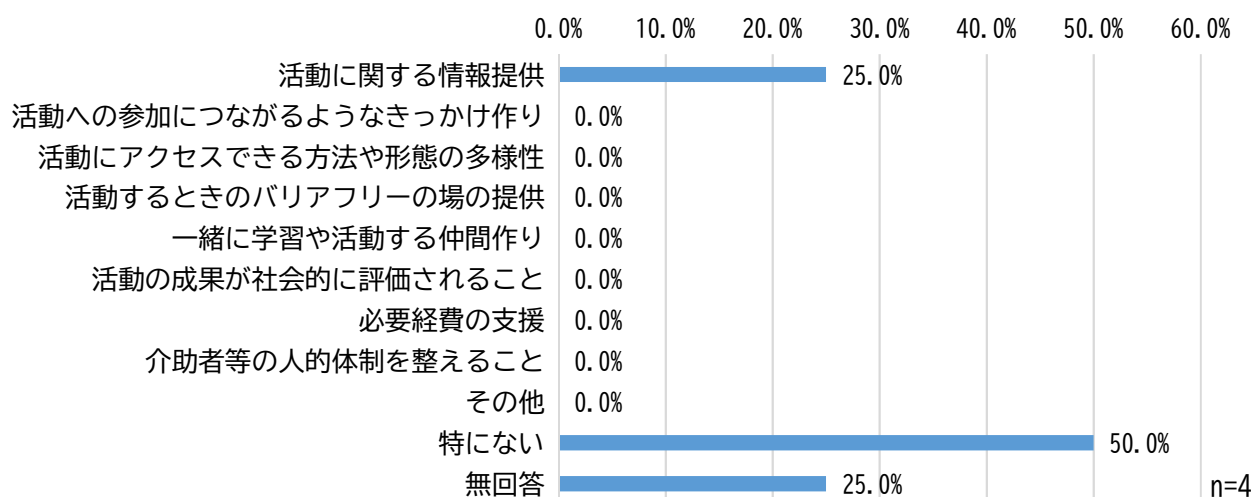
☆「公民館や生涯学習センターなど公的な機関における講座や教室」が 58.9%と最も多く、次いで「図書館、博物館」が 45.2%、「自宅での学習活動（書籍など）」が 38.4%という結果となりました。

「問32で「16 学んだり活動してみたいことが特にない」と回答した方にお伺いします。」

【問34】 どなたでも生涯学習を行えるためにはどんな支援が必要だと思いますか。(回答はいくつでも)

- 1 活動に関する情報提供
- 2 活動への参加につながるようなきっかけ作り
- 3 活動にアクセスできる方法や形態の多様性
- 4 活動するときのバリアフリーの場の提供
- 5 一緒に学習や活動する仲間作り
- 6 活動の成果が社会的に評価されること
- 7 必要経費の支援
- 8 介助者等の人的体制を整えること
- 9 その他
- 10 特にない

選択肢	回答数	回答分布
活動に関する情報提供	1	25.0%
活動への参加につながるようなきっかけ作り	0	0.0%
活動にアクセスできる方法や形態の多様性	0	0.0%
活動するときのバリアフリーの場の提供	0	0.0%
一緒に学習や活動する仲間作り	0	0.0%
活動の成果が社会的に評価されること	0	0.0%
必要経費の支援	0	0.0%
介助者等の人的体制を整えること	0	0.0%
その他	0	0.0%
特にない	2	50.0%
無回答	1	25.0%

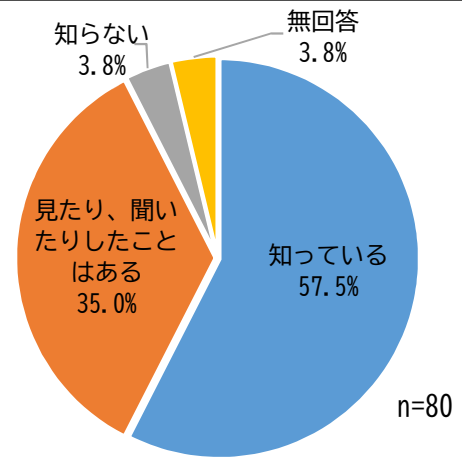


☆「特になし」が、50.0%という結果となりました。

【問35】 あなたは、知的障害や発達障害について知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 見たり、聞いたりしたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	46	57.5%
見たり、聞いたりしたことはある	28	35.0%
知らない	3	3.8%
無回答	3	3.8%
計	80	100%

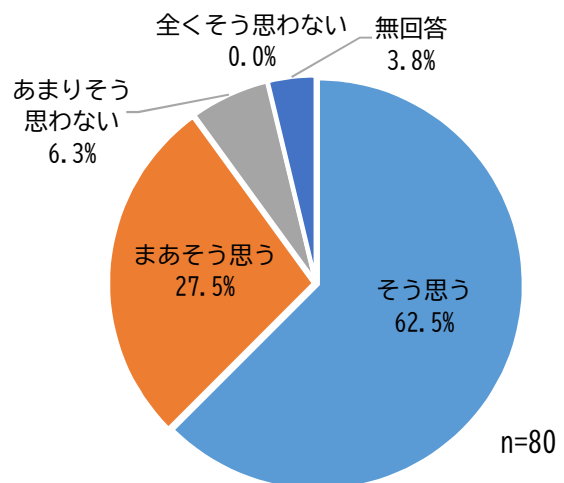


☆「知っている」が、57.5%という結果となりました。

【問36】 「共にささえあい生きる社会」になるために、障害のある方も生涯学習の機会が必要だと思いますか。(回答は1つ)

- 1 そう思う
- 2 まあそう思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 全くそう思わない

選択肢	回答数	回答分布
そう思う	50	62.5%
まあそう思う	22	27.5%
あまりそう思わない	5	6.3%
全くそう思わない	0	0.0%
無回答	3	3.8%
計	80	100%



☆「そう思う」が、62.5%という結果となりました。

「問36で「1 そう思う」または「2 まあそう思う」と回答した方にお伺いします。」

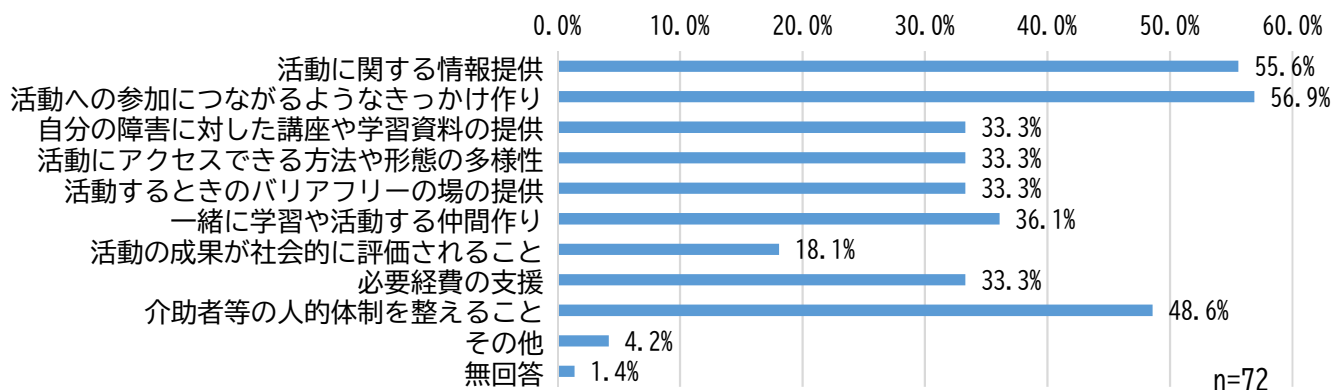
【問37】 改めて、障害のある方が生涯学習を行えるためにはどんな支援が必要だと思いますか。
(回答はいくつでも)

- 1 活動に関する情報提供
- 2 活動への参加につながるようなきっかけ作り
- 3 自分の障害に対する講座や学習資料の提供
- 4 活動にアクセスできる方法や形態の多様性
- 5 活動するときのバリアフリーの場の提供
- 6 一緒に学習や活動する仲間作り
- 7 活動の成果が社会的に評価されること
- 8 必要経費の支援
- 9 介助者等の人的体制を整えること
- 10 その他

選択肢	回答数	回答分布
活動に関する情報提供	40	55.6%
活動への参加につながるようなきっかけ作り	41	56.9%
自分の障害に対する講座や学習資料の提供	24	33.3%
活動にアクセスできる方法や形態の多様性	24	33.3%
活動するときのバリアフリーの場の提供	24	33.3%
一緒に学習や活動する仲間作り	26	36.1%
活動の成果が社会的に評価されること	13	18.1%
必要経費の支援	24	33.3%
介助者等の人的体制を整えること	35	48.6%
その他	3	4.2%
無回答	1	1.4%

「その他の主な意見」

- ・ピクトグラムを取り入れてわかりやすく
- ・一般の人に対してのアプローチが少ない。障害者同士とかそのサポーター等のつながりが多く、強い為、何をすべきかとかともに何をが見えない。ハンドブックを読み、視覚障害者のSOSが白杖を頭上に高く持ち上げるとありましたが、知らない人の方が多いし、杖なので叩かれると勘違いされるかも…TV等で、不自由な点とか手助けの方法等で教えて欲しいです。
- ・活動結果が社会に貢献し繋がっていることの成果を本人に知らせる(金銭的売上げがあれば含めて)。



☆「活動への参加につながるようなきっかけ作り」が 56.9%と最も多く、次いで「活動に関する情報提供」55.6%、「介助者等の人的体制を整えること」が 48.6%という結果となりました。

・障害のある人、またはその事をよく知る人からの情報がまずは必要と思います。（具体的な事柄、何をサポート、共有して欲しいか等）それは一方的でなく、相互に補助を目的に。一握りの人は好みや、得意な事（例えば文化的な音楽、絵画、工作等）を持たれ、それらを見つけ、充実した生活を送っていらっしゃると思いますが、ほとんどの人は周囲から保護されて、ただ日々を過ごされているようです。生涯学習は一般の人でも生活の張りとか質の向上につながりますので、ここについて細かく調査、研究、対応をして頂きたいとおもっています。知人の不登校の小6の児童は”石”に興味があり、親しくなった80才の私に一番のお気に入りの石をくれました。私はその石に安全ピンを付けてブローチにしました。すると、彼は小さな石を紙に貼ってネックレスにしました。その人の好きなものとか、作業等じっくりと見て、それを伸ばすようにサポートをすると良いと思います。○出来る事、出来ない事を明確にする。○希望する事、希望しない事を明確にする。○必要な事、不必要な事を明確にする。※長期継続可能か。①満足感が得られない。②その人にとって適合しているか。③段階的にレベルアップできるか。以上の事を広範囲に意識して考え、検討する。本人の考え（可能ならば）を専門職あるいは共有する側が合わせ、本人の望みに焦点を持ってサポートする。

●発達障害の普及・啓発活動について

・自分は精神障害があるので、多くの人に精神障害の正しい知識を広めていきたい。
・市の取組みについて、いろいろお勉強したいと思います。HP等で調べてゆきたいと思います。
・まずは情報の提供から、と考えます。
・まずは、障害者とその家族と行政の担当者が直接コンタクトして、意見要望を聴くことによって、おおかたの動向や意向が把握できると考えます。その上で、彼らを取りまく周辺の方々（市民）の意識調査をすることによって粗方のギップが埋まる又はシナジー効果が期待できると思います。自治会の回覧や地域情報紙を活用して問40の啓発活動、イベント情報等取組を周知することが効率的と考えます。
・PR活動をもっと行ってもらいたい。
・特別にみがちだけど、いかにフラットにナチュラルにいい意味で気軽に知ってもらえるか伝えていくかがポイントだと思う。
・問40の取組を全く知らなかった。ある時期だけではなく、この取組みが常態化するようになると良いのではと思う。（毎年1月頃から行われている活動がどのようなものなのかイメージできない程、具体的に知らないのが現状である。）
・昔むかしの話ですが、生まれ育った所に障害者（当時はこういう言い方はなかったと思います。）の方がおられて、誰も何も教えてくれないので、子供心に”怖い”と感じていました。やはりお互いに相手を知る必要が重要（大切）だと思います。（乱筆にて失礼しました。）
・身近にそういう人がいないとあまり意識しない。広報などで情報を発信すると良いと思う。
・はじめてしりました、すみません！！
・認識不足を痛感しております。今回のアンケートを機に他の人たちにも知らせ、アピールし、支援したいと思います。
・市の取組みについて広く説明して欲しい。
・相模原市の取組を知らなかったなので、いい機会になった。

<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習に限らず、障害者の権利・差別に関して知らないことが多過ぎます。「共生社会の実現」を目指すには、先づそのきっかけ作りが大切だと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・私は高齢となり障害者と身体的に手助けする事が出来ませんが、啓発活動等には何らかの方法で参加出来るかと思えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・市の取組は知っていますが、実際参加したことはありません。理由は何となく敷居が高いからです。ニュース等を観るとご本人、お身内、友人、知人がなごやかに集われている様子がうかがえますので、そこに入るには勇気がいります。理由は…障害の状況や度合いを理解していないのに係わって良いのか見心を傷付けはしないかとの不安で踏み込めないのです。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域版スペシャルオリンピックスのようなお祭りイベントを通じて認知と理解を得る。

●その他

<ul style="list-style-type: none"> ・むかしとちがって積極的に社会へ出ているのですごいと思いました。以前はかくすということが多く中、サポートしている方々頑張っていたきたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校に読み聞かせに行っております。知的障害の子供が多いように思いますが、話しかけたりしてはいけないということを聞きます。以心伝心の心で、なんとかしてあげたい気持ちでおります。
<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーな環境、大事だと思いました。
<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の方の近くに、障害者の方の施設があって、暮らしやすい市であるように。家族がとても負担にならないように・・・。
<ul style="list-style-type: none"> ・だれもがあなたかくみまわれるようになりたい！！
<ul style="list-style-type: none"> ・障害者対策に積極的だった和光大学に教員として勤務していました。毎年数名の障がい者が入学していましたが、対応には地直な努力が必要でした。”障害者”という一般用語での調査では有用な情報収集は難しいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・一言に障害者と言ってもそれぞれで、まずそれをきちんと提示して欲しい。パンフレットとか一部のみにしか目にされない物より、TVとかラジオ等、一般の人が容易に観られたり、聞ける物で広く障害の状況、そちらからの要望を知り、生涯学習はその後考えるべきで一概には意見とか要望は言えません。障害と言っても範囲が広いので（元精神障害者のソーシャルワーカーをしていましたが…）障害をしっかりと把握しないと、先には進めないと思いますので、最小限の情報と要望を知りたいと願っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・実際にどのような障害の方が何人いらっしゃるのか知りたいです。

このアンケートに関するお問合せは、こちらへお願いいたします。
 相模原市 こども・若者未来局 陽光園 発達障害支援センター
 〒252-0226 相模原市中央区陽光台 3-19-2
 電話 042-756-8411（直通）